



2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年10月26日
株式会社トーメンデバイス

免責事項



本資料に掲載されている株式会社トーメンデバイスの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実の要因によっては、大きく変化する可能性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますようお願い申し上げます。

I 第2四半期 決算概況

II 2017年度 見通し及び取り組み

2

連結業績サマリー

(単位:百万円)

	2016年度 1H	2017年度 1H	増減額	増減比
売上高	77,192	104,886	+27,693	+35.9%
売上総利益	1,332	2,521	+1,189	+89.3%
営業利益	312	1,502	+1,189	+380.2%
経常利益	1,023	1,307	+284	+27.8%
当期純利益	735	933	+197	+26.9%
総資産	65,568	74,979	—	—
純資産	25,652	27,109	—	—
1株当たり純資産(円)	3,759.51	3,968.31	—	—
自己資本比率	39.0%	36.0%	—	—

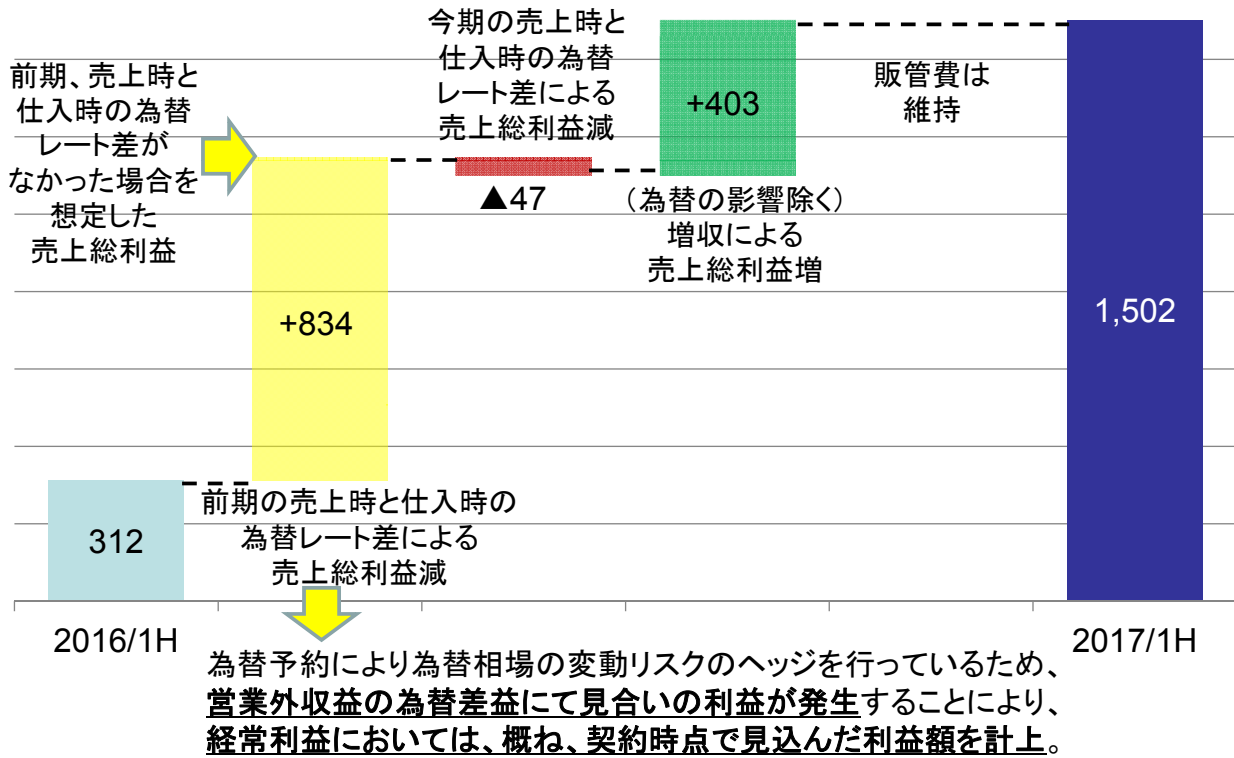
当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

3

営業利益増減要因



(単位:百万円)

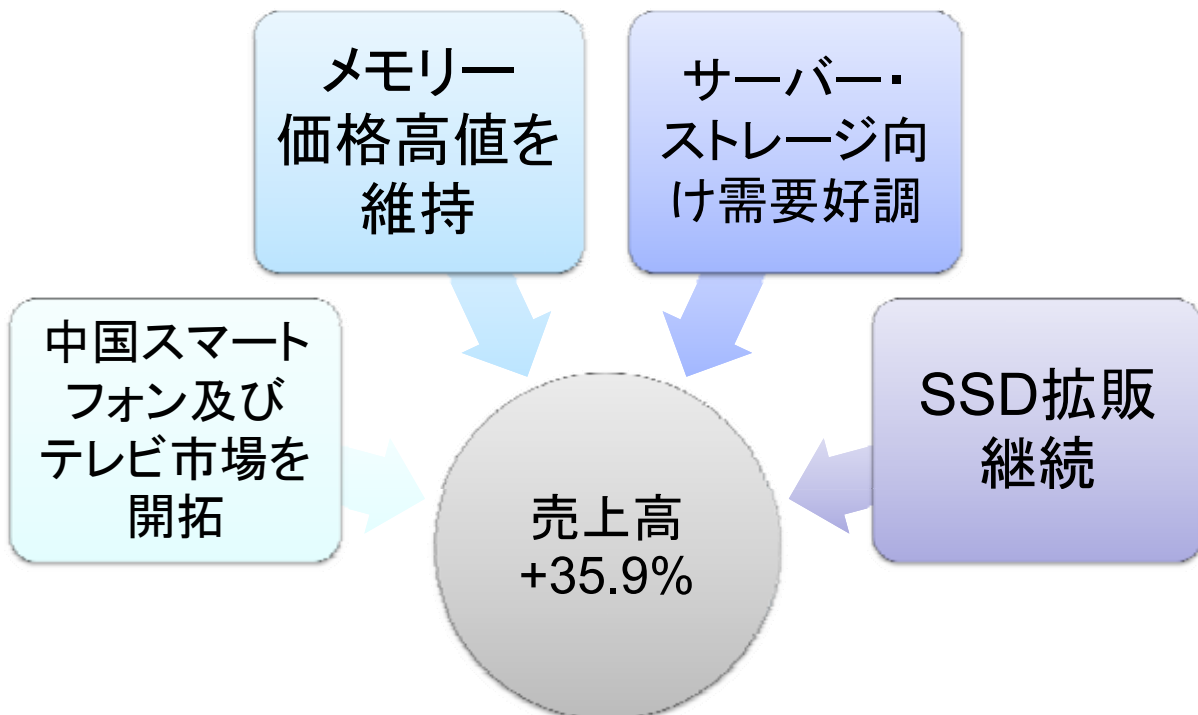


4

第2四半期決算トピック



好環境の下、拡販・市場開拓により、増収増益へ



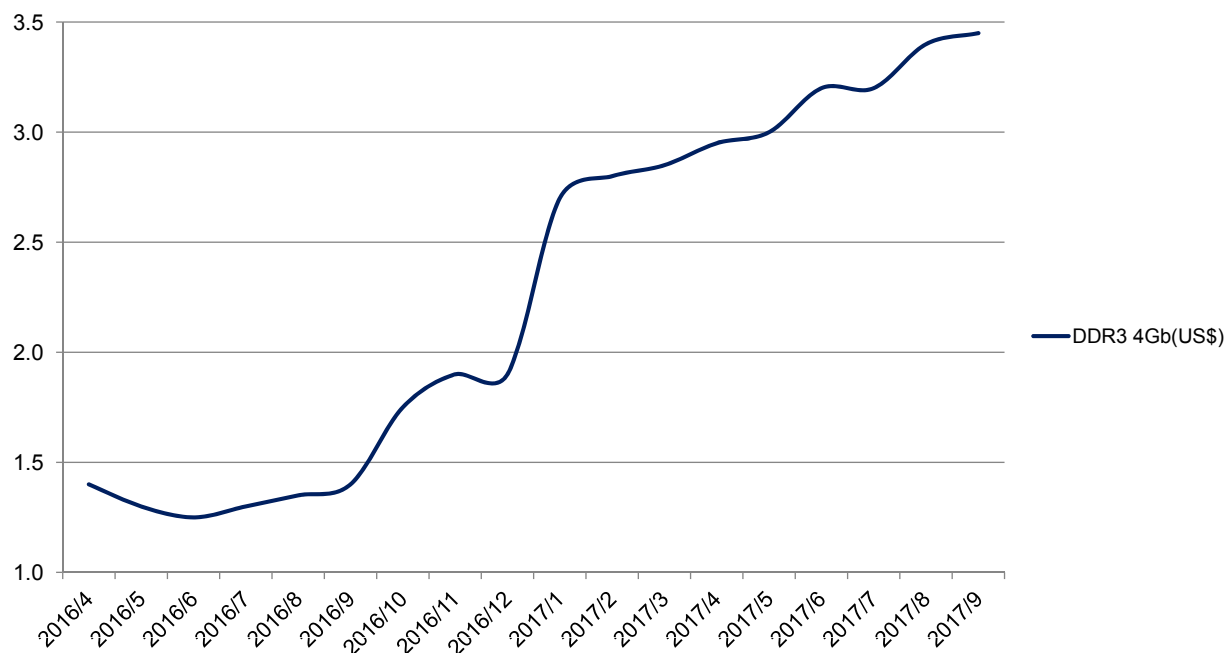
5

DRAM価格推移（'16年4月～'17年9月）



供給不足に伴い、価格は上昇傾向が続く

(単位:USドル)



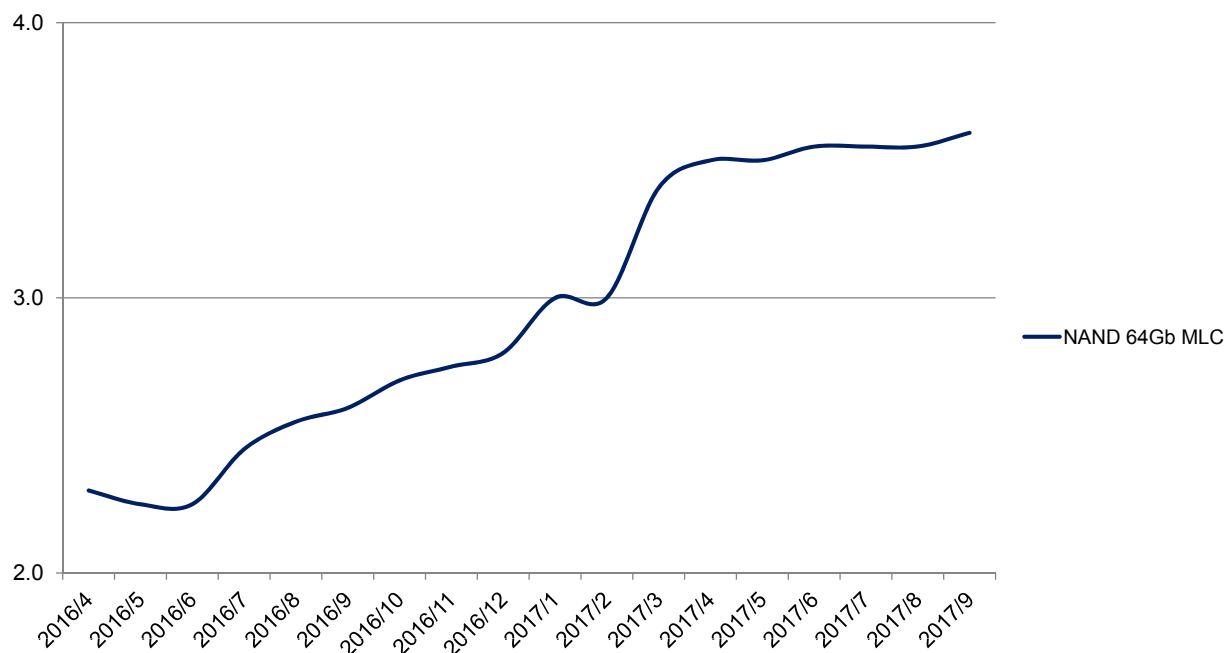
(出所)各種資料をもとに当社で作成

NAND価格推移（'16年4月～'17年9月）



供給不足が続き、高水準で推移

(単位:USドル)

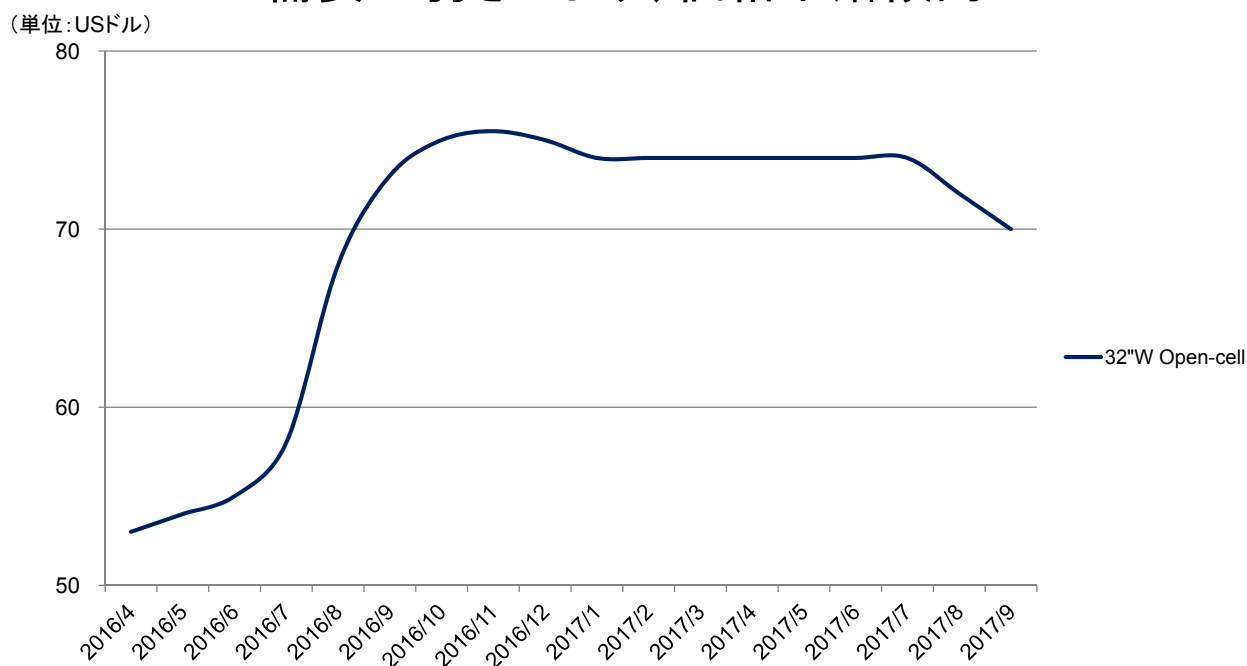


(出所)各種資料をもとに当社で作成

液晶パネル価格推移（'16年4月～'17年9月）

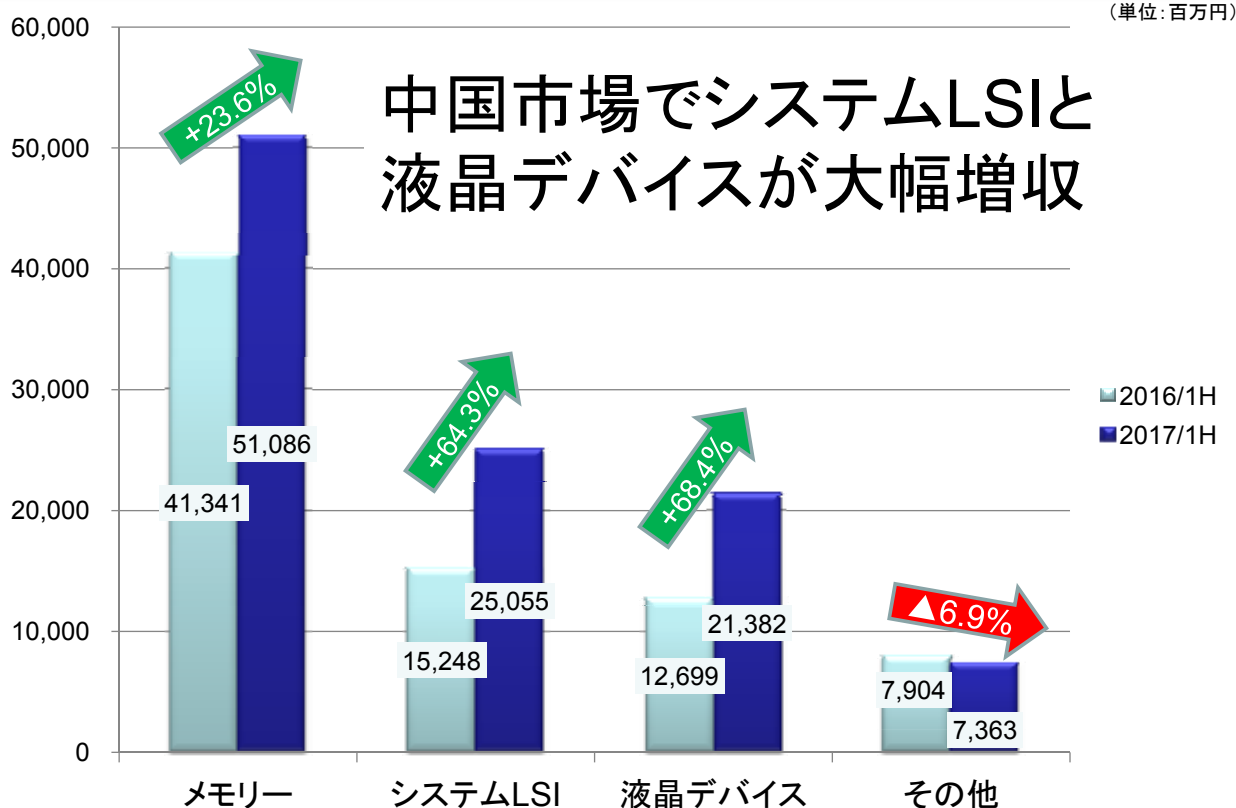


需要の弱さにより、価格下落傾向に



(出所) 各種資料をもとに当社で作成

商品別 売上高推移



商品別売上高増減要因



メモリ +23.6%

- 中国市場スマートフォン向けで強い需要
- 商品価格高値で推移
- サーバー・ストレージ向け需要強

システムLSI +64.3%

- 中国スマートフォンビジネス増収継続
- テレビ、タブレット向けドライバーICビジネス良好

液晶デバイス +68.4%

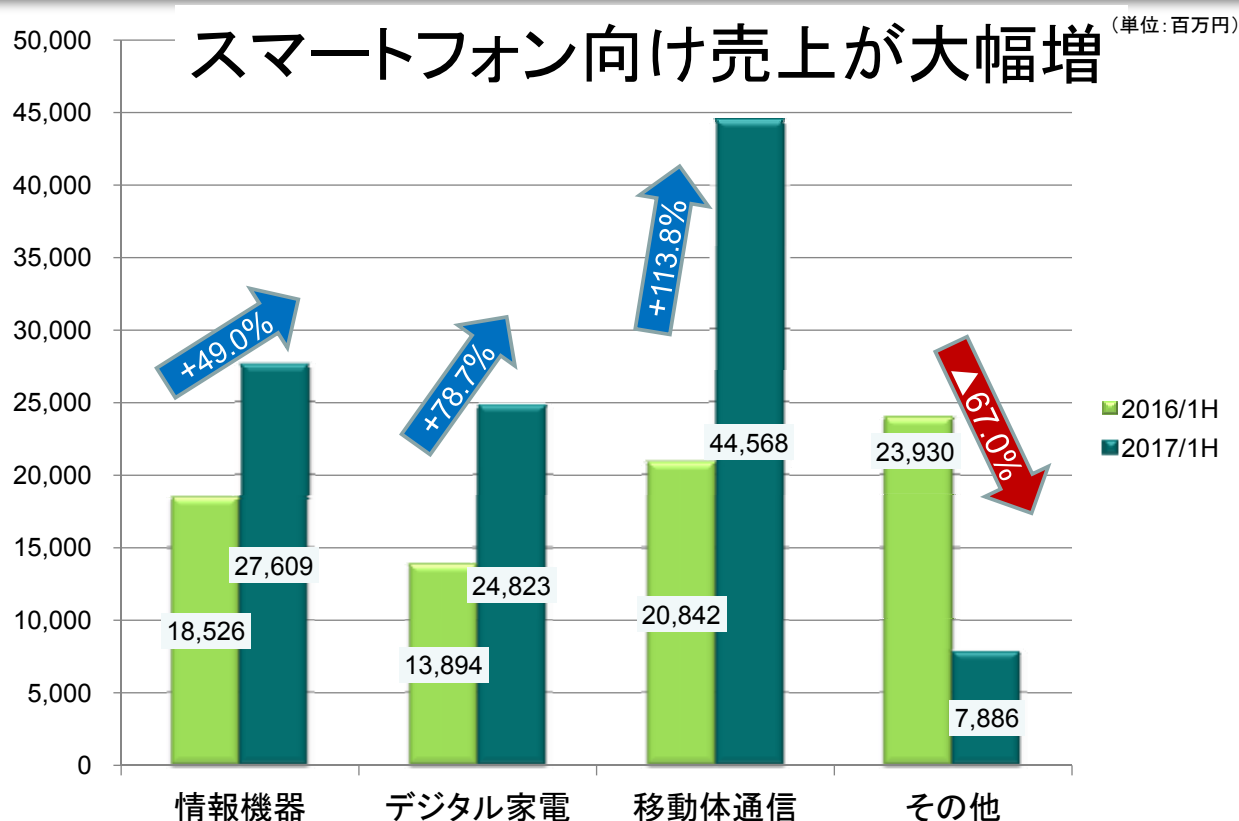
- テレビ向け拡販(中国 & 日本)
- モニタービジネス堅調

その他 ▲6.9%

- スマートフォン向け有機EL増収
- テレビバックライト用LED大幅減

10

用途別 売上高推移



11

用途別売上高増減要因



情報機器 **+49.0%**

- ・ サーバー・ストレージ向けビジネス好調
- ・ 世界的PC市場縮小の中、中国でDRAM、国内でSSDの拡販を実施

デジタル家電 **+78.7%**

- ・ 中国・日本共にテレビ向け液晶パネルの販売が大幅に伸びる
- ・ テレビ用液晶パネル向けドライバーICも売上増

移動体通信 **+113.8%**

- ・ 中国CMOSイメージセンサビジネス好調維持
- ・ 中国でスマートフォン向けメモリ売上が急増

その他 **▲67.0%**

- ・ NAND価格の値上がりによる供給問題→中国でNAND Waferの物量確保が困難に

12

本日の内容



I

第2四半期 決算概況

II

2017年度 見通し及び取り組み

13

過去最高の売上高を見込む

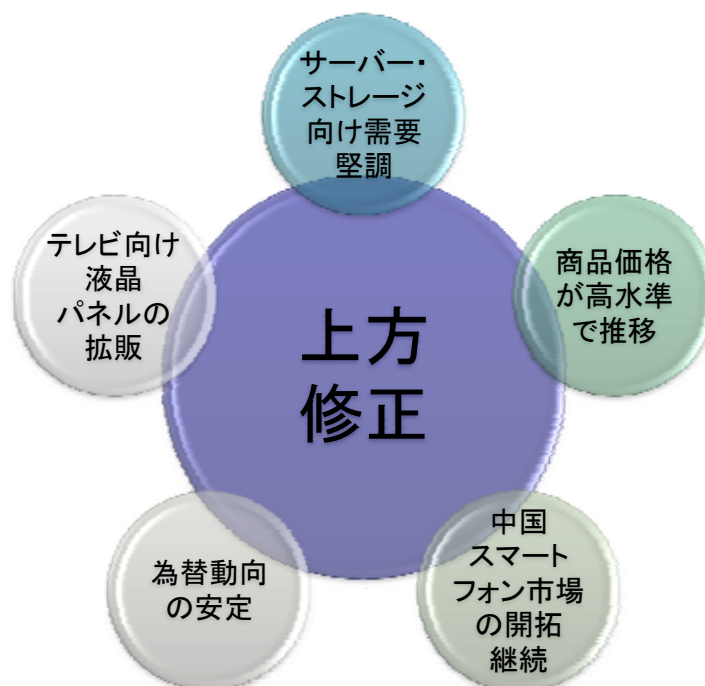
(単位:百万円)

	16年度実績	当初予想	修正予想	対前期増減	前期比
売上高	156,677	160,000	190,000	+33,323	+21.3%
営業利益	1,252	1,850	2,300	+1,048	+83.6%
経常利益	1,690	1,700	2,000	+310	+18.3%
当期純利益	1,230	1,250	1,500	+270	+21.9%
1株当たり 当期純利益(円)	180.86	183.78	220.54	—	—
R O E	4.8%	4.7%	5.6%	—	—
1株当たり 配当金(円)	60	60	70	+10	+16.7%
配当性向	33.2%	32.6%	31.7%	—	—

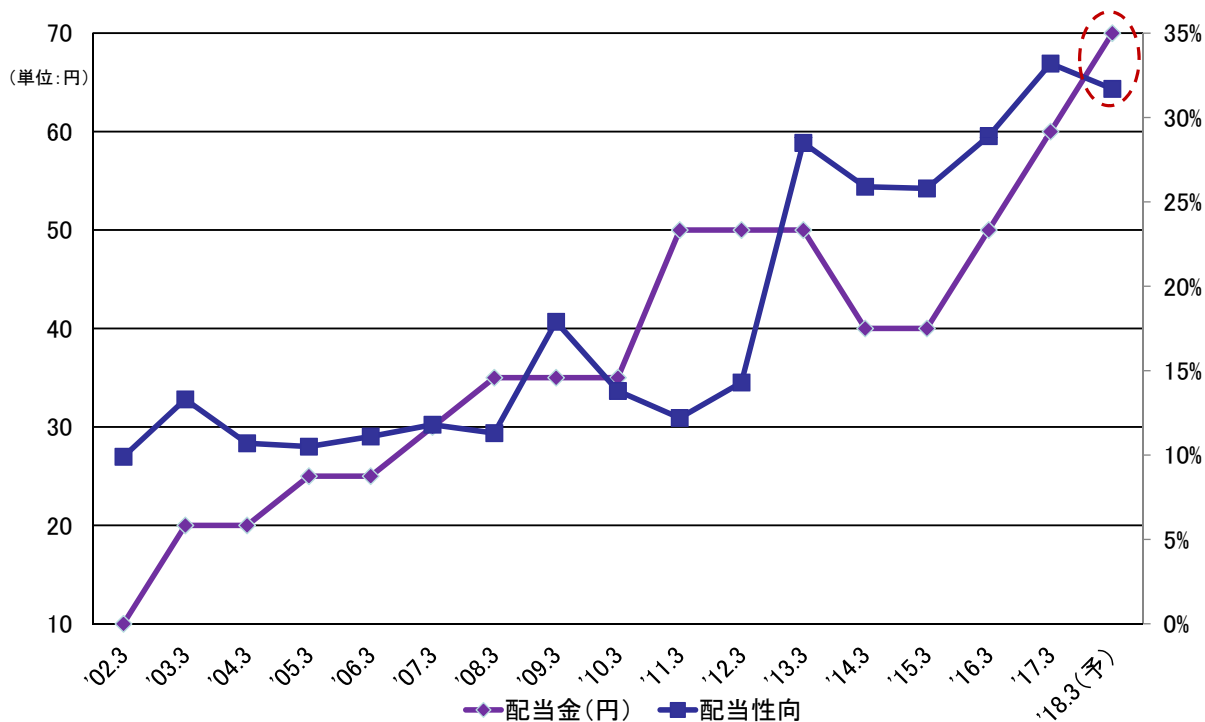
当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

業績予想の修正

下期は環境が厳しくなる見込みだが、
通期では過去最高の売上高となる見通し



過去最高の配当額。3期連続で(対前年度比)増配を実施。



2017年度下期の見通し

Positive

- メモリー(DRAM、NAND、SSD)価格は高水準で推移するものと予想
- サーバー・ストレージの高機能化・高容量化が進む
- ミドル～ローエンドモデル中心に、新興国のスマートフォン需要は今後も拡大

Negative

- PC、デジカメ市場は停滞から回復せず
- メモリーの供給問題はまだ解消せず
- 液晶パネル価格は下落傾向へ
- 国内政局及び地政学リスクの影響

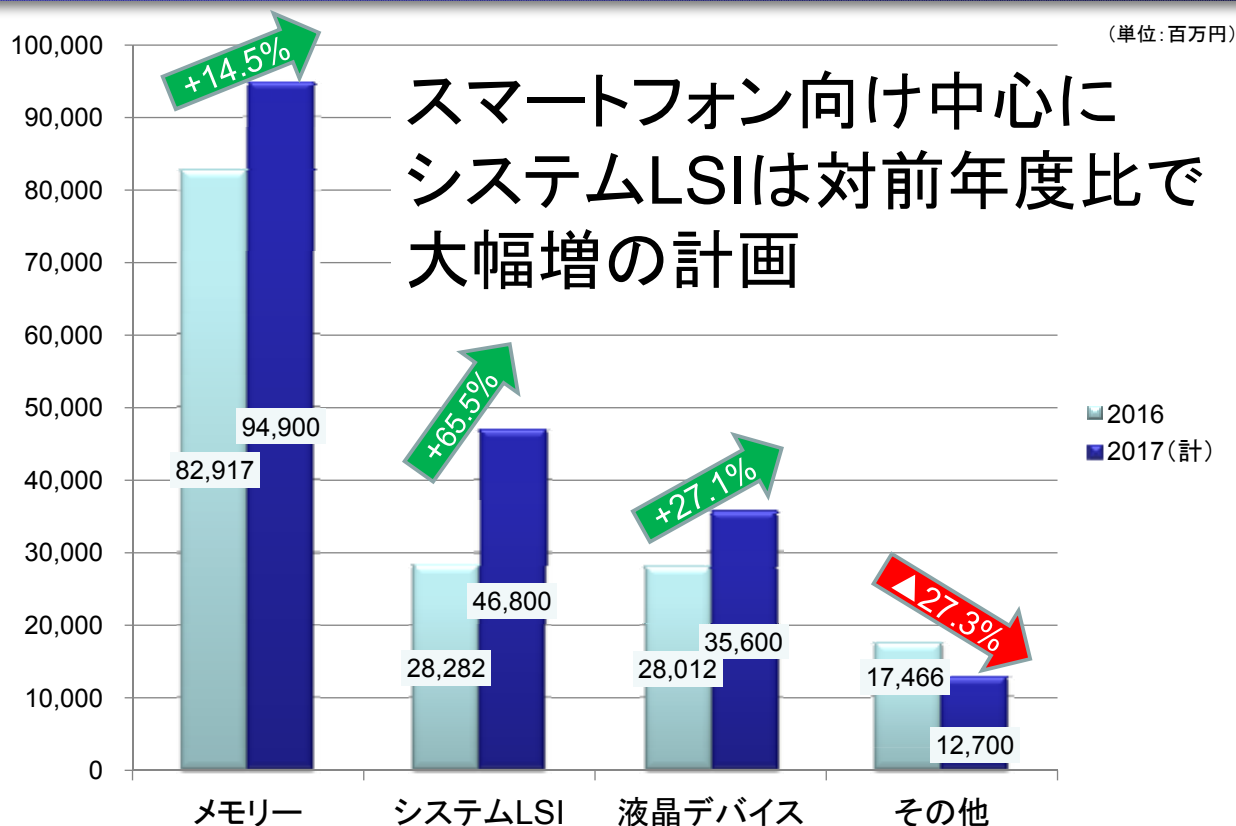
物量の確保

- 下期も昨年度から引き続き逼迫状況が続き、価格も高水準で推移するものと予想。引き続き物量の確保に努める

新規市場の開拓

- サーバー・ストレージ向けにNANDを供給
- 設備・装置向けビジネスの稼働
- 車載市場の開拓を継続

商品別 売上計画



下期の商品別取り組み事項



メモリー

- ・ 中国→スマートフォン向け中心、国内→サーバー・ストレージ向け中心に、それぞれメモリーを拡販
- ・ サーバー・ストレージ、PC共にSSDのプロモーションを継続

システムLSI

- ・ CMOSイメージセンサ等、中国スマートフォン市場の拡販続行
- ・ ドライバーICのシェア維持、拡大

液晶デバイス

- ・ 中国テレビ市場で拡販活動継続
- ・ サイネージ、モニタービジネスで拡販活動継続

その他

- ・ 設備等、新規ビジネス・商材の開拓
- ・ LED売上回復へ(次期モデルへの採用)

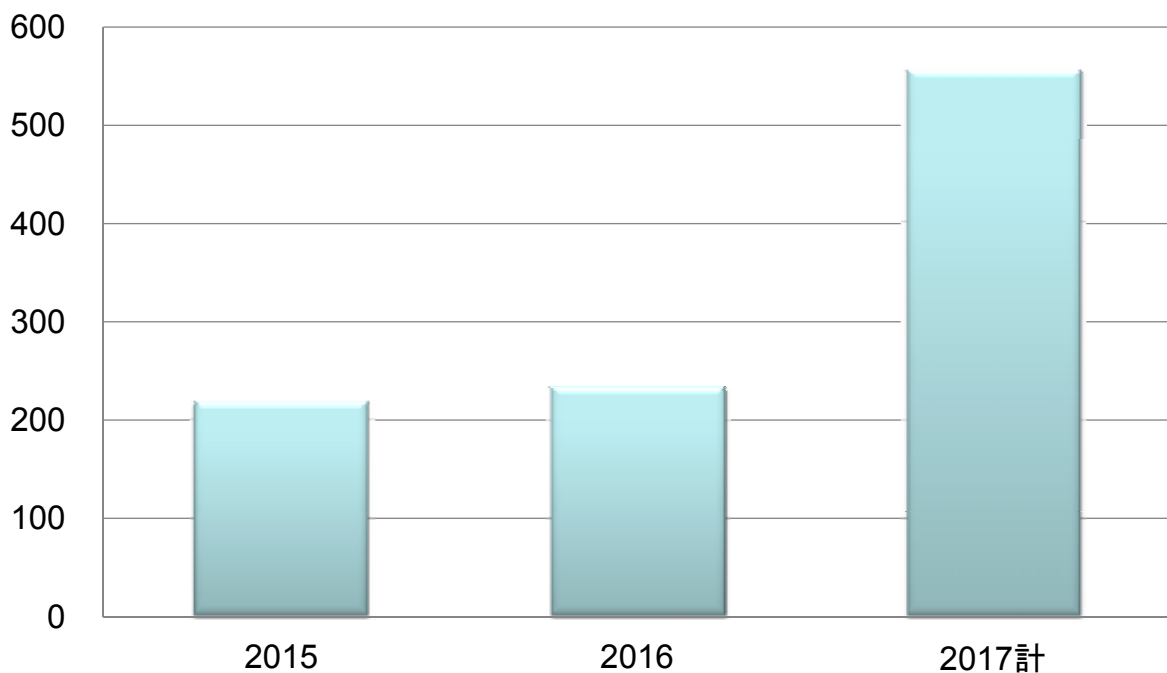
20

中国スマートフォン向け売上計画



CMOSイメージセンサと並行し、メモリーも拡販

(単位: 億円)



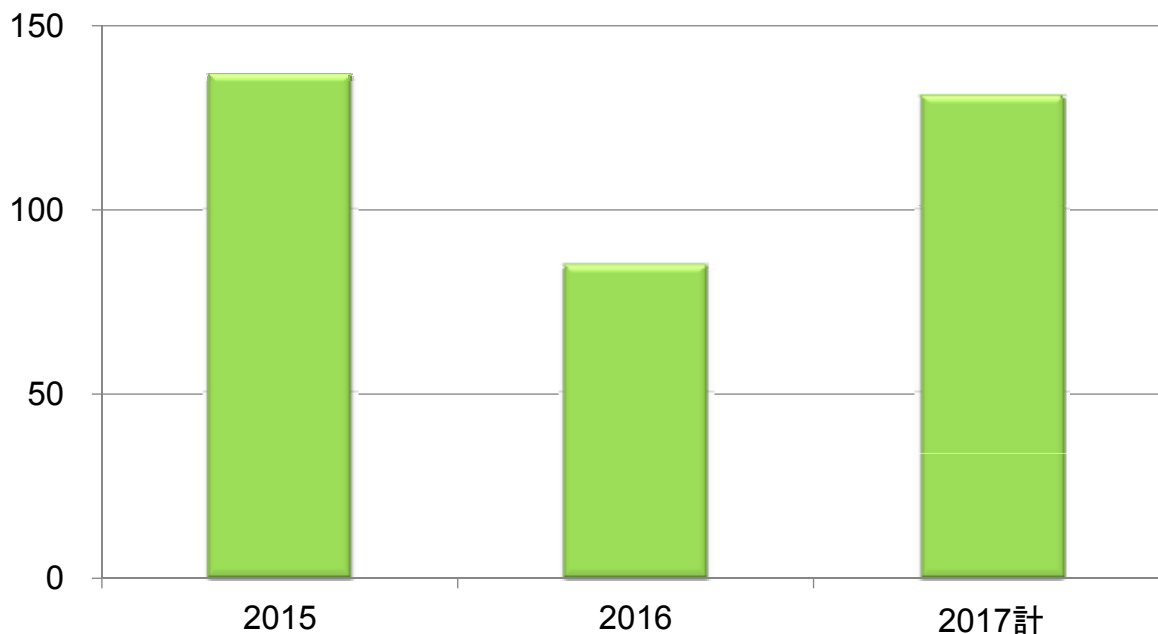
21

サーバー・ストレージ向け売上計画



クラウドサービスベンダーに加え、
エンタープライズ向けの需要が堅調

(単位: 億円)

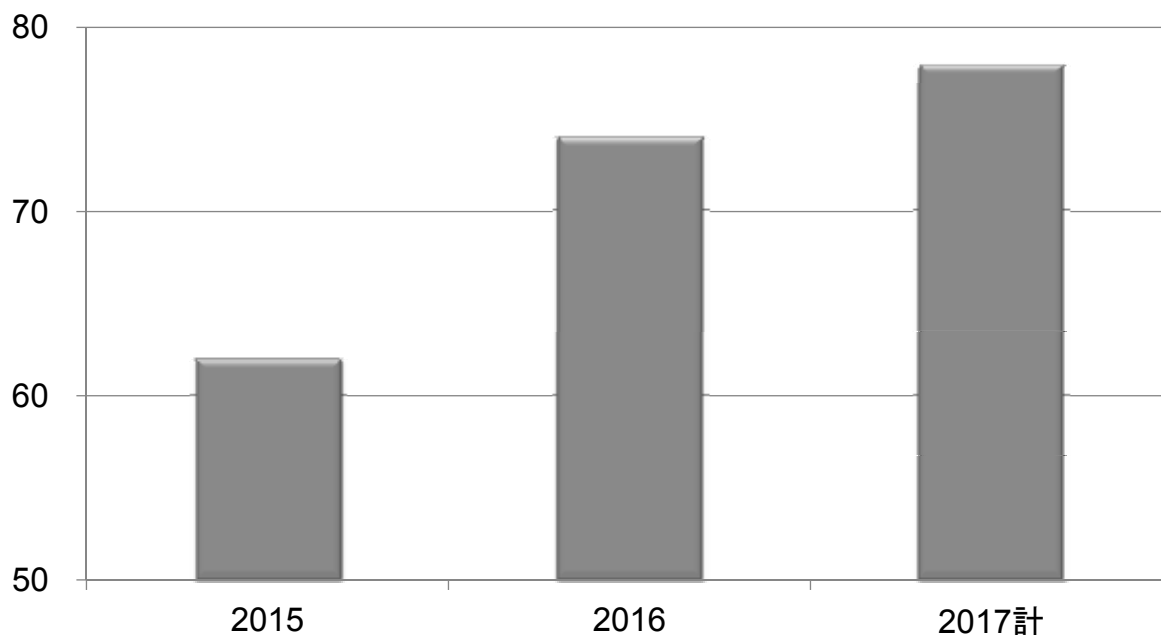


SSD販売計画



タイト感が続く中、PC、サーバー・ストレージ、
エンタープライズ等、様々な用途向けに販売促進

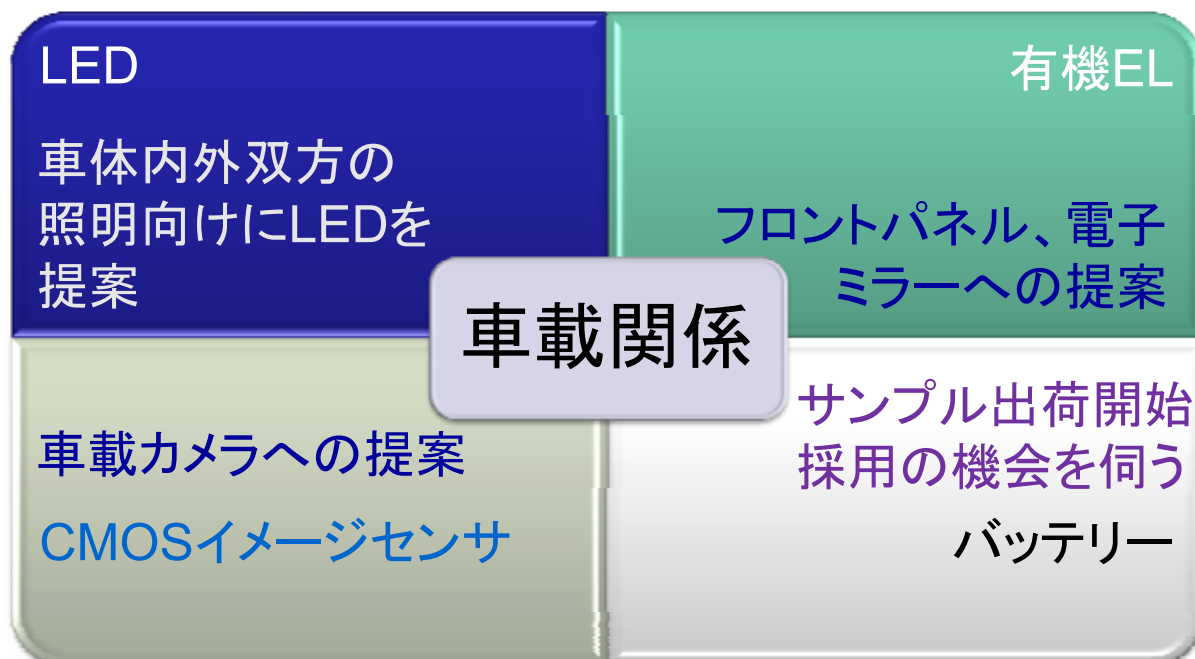
(単位: 億円)



車載ビジネスの取り組み状況



(カーナビ向け)メモリ以外の商材を提案、種まき中



ご清聴ありがとうございました

